RIPPLE SAILING CLUB
NO. 116

月刊 1992・5・30

RIPPLE

（発行） 500円
リプル・セイリングクラブ
〒238−03
神奈川県横須賀市長井2−11−1
TEL 0468−57−1711

スポット対抗駅伝レース 急、募

来る6月7日（日）恒例になりました第8回スポット対抗駅伝ヨットレースが行われます。
今年のホストスポットは葉山セーリングクラブで会場は初めて森戸海岸での開催となります。
これまでの成績は区間優勝は幾度となく獲得しているものの、優勝となるとまだ未経験です。しかし、各スポットの親睦レースなので最近は順位は関係なく参加者は初夏のセーリングを楽しみながらのレースに成ってきております。

レースは女性1名を含む5人でチームが構成され、沖合いに左右に2つ、岸近くに1つのブイが有りそれらのブイをM型にセーリングをし、各チームに任された1コースだけ女性を乗せ4周し順位を競うというものです。そして、次の選手にタスキを渡すときに陸上では二人三脚で陸のブイ（マーク）を回るのはいつもと同じです。
参加費用は1チーム10，000円で、スキッパーズミーティングは10：30分。スタートは11時で更に細かい大会要項、帆走指示書はクラブハウスに貼ってあります。
参加者はお早めに申し込んで下さい。

大島 クルージング

まだ先の話ですが、7月の最終日曜日を除く梅雨明け10日の内に恒例になりました大島クルージングを行います。
不気味な三角形がリプル号とじぐざぐに併走するサメウオッチングは勿論の事、運が良ければ潮を吹きながら悠然と泳ぐ"くじら"の群れが観察できディンギーとはまた違ったセーリングです。
予定としては、深夜2時頃（木曜）出航し途中沖の山で大物釣りを楽しみながらお昼ごろ大島着の予定です。そしてその日は徹夜のセーリングなのでビールで疲れた体を充分に癒してあげ、翌日（金曜）は島探検隊チームは下船して頂、釣りをしたい人は早朝よりしま鯵なりカンパチの大物釣りを楽しみます。そして3日目（土曜）は港が混雑して来る前に出航しケンケンをしながら帰路に着きます。
申し込みは先着マックス8名といたしますので、有給なり、代休なり各自調整して早めの申し込みをして下さい。予定としては7月の23日から25日を考えています。

ホッパーグースネックのチェックを!?

今年に入ってリプルのレンタル艇を含め、ホッパーのグースネックのピンが折れるという事故が3件発生致しました。いずれも金属疲労と思われる折れかたをしていました。
ちょうど購入してからそんな時期に当たっているのかも知れません。
特にブームの雌の方の穴が大きくなっているものは要注意と思って下さい。恐らくタック、ジャイブの時にガタンガタンとなって疲労が蓄積されて行くのではないかと思います。
皆さんのお預かりしている艇のグースネックを見るに、そろそろ来そうな物もありますので、セイリングに来られた時に各自チェックをし新品との交換をお勧め致します。
交換は自分で簡単に出来ますので、相談して下さい。ドリル、リベッター等は用意してありますが、消耗品（リベット）は各自用意して下さい。
もしセーリング中に折れてしまったら、トレベラーシートをアウトホールシートにし、調整をしながら帆走して帰ってきて下さい。

バーベキュー アンド リプルカップ（6/14）

去る5月のリプルカップは折からの強風と土砂降りの雨のため中止になりました。
来月のリプルカップは6月14日（日）に行います。
当日は多くても3レース位にして、レース終了後久しぶりにバーベキューを行いたいと思います。
レースに出なくてバーベキューだけの参加者も大歓迎ですので奮って御参加を！。
ここのところ絶不調の山崎は泥沼から抜けでれるのか、伏兵の小原の追撃は何処まで届くのか、スキーばかりしていて長期ブランクの小林、墨田、吉田はどう走るのか、重量不足の新大関小池はどうでるのか、そして横綱長谷川は安泰なのか。11：00にフォグフォーンは鳴るのである。

長浜・三戸浜 合同レース（不定期）

去る5月25日（？？？）YSA長浜・三戸浜主催のヨットレースが開催されました。
自主運営のため参加者をとの事でしたが、どうゆうめぐり合わせかレース当日になってコミッティーをやって下さいということになり、どたばたと準備をし、レース運営をやらなければ成らなくなってしまいました。余りにも虫の良すぎる彼らの要望にちょっとへその曲がってしまうS氏であったが、そこは海の仲間の困った事なので、S氏の要望であるコミッティー艇はキスの釣れるところをスタートとし、釣る時間を多く取りたいのでレグはおもいっきり長く取ることで了承してもらいさっそく海上へと急ぐS氏であった。

当日は上空に寒気が入り込み朝から雷が落ちたり、土砂降りが有ったりのさんざんの天候でしたが、23名の選手が艤装を終える頃には薄日も差し出す天候に変わってきていた。しかし、風速は徐々に増しだしいやーな予感がよぎるように成ってきたのである。
12時のスタート時刻近くになると各艇はプレーニングをしながらベストポジションをキープしようと必死になっているのが良く判るのである。我がリプルカップだととうに中止になる風速まで上がってきたが、参加者のレベルを見るに、恐らく7−8割が国体経験みたいな感じであったのでスタートを告げとにかくスタートさせてみることにした。その時既に2艇は完沈のままどんどん流されて行く中でである。

さすがレースの好きな連中だけ有って見事なスタートである。上マークに向かう途中風速は気持ち徐々に上がってきているのである。ゆうに10m／s近くにまで上がり、時折のブローは10m／sを越えているのである。
パンチングのスプレーを全身に被りながら上マークまで移動し、各選手の様子を見ていると、余りにも上がりすぎた風速にほとんどが落とせないである。ティラーを思いっきり引いてはいるもののウエザーが強力でとにかく落とせず横走りをしているではないか。沈艇も何艇か出だし、上マークでこんな状態じゃサイドのジャイブなんかトンでもはっぷんなので、その場でレースの中止を判断し全選手に岸に帰ってもらうことにしたのである。

そんな中我がハッシーこと長谷川は下マークに向けトップを走っているではないか。めちゃくちゃ惜しい気もしたがサイドマークの修羅場を考えるとレース続行の状態ではなかったのである。

こうして第一回の三戸浜、長浜合同レースの幕は下りたのであるが、とにかくレベルはかなり高いことが判りましたので、今度開催されるときはこの会報でお知らせ致しますので、胸を借りる感じで参加をしてみて下さい。